

工法・新製品紹介

多目的掘削機＋低空頭軽量型ケーシング掘削機

日車アースドライバー EDH-11 + 全回転オールケーシング掘削機 RT-200L

1. 日車アースドライバー (EDH-11)

当機は、アース軸掘・拡底、ケーシング掘削、スーパートップ (RT-200L) との併用作業・ハンマーグラブ掘削、クレーン作業 (最大定格荷量7.2t吊り)、揺動機との併用作業 (油圧源の取出し付) 等、多目的作業が可能な掘削機として開発・商品化しました。

今後増加すると予測される都市部の特に狭隘地再開発において、機材搬入から、障害の撤去、アース杭造成、機材搬出までの基礎工事に関わる仕事を、一貫して施工可能な多目的掘削機です。

ケリードライブの昇降は、ラック&ピニオン式を採用、回転トルクは、最大105.5kN・mでSL制御により50%～100%の間でトルク、回転数が任意に設定できます。

RT-200Lとの併用作業では、次の杭芯へ移動させる際、RT-200Lを持ち抱えて自走出来るので、相伴クレーンが不要になります。

2. 全回転オールケーシング掘削機 (RT-200L)

当機は、低空頭、軽量型のスーパートップ機として、狭隘地や橋桁下、高架下等の現場施工、および、EDH-11との

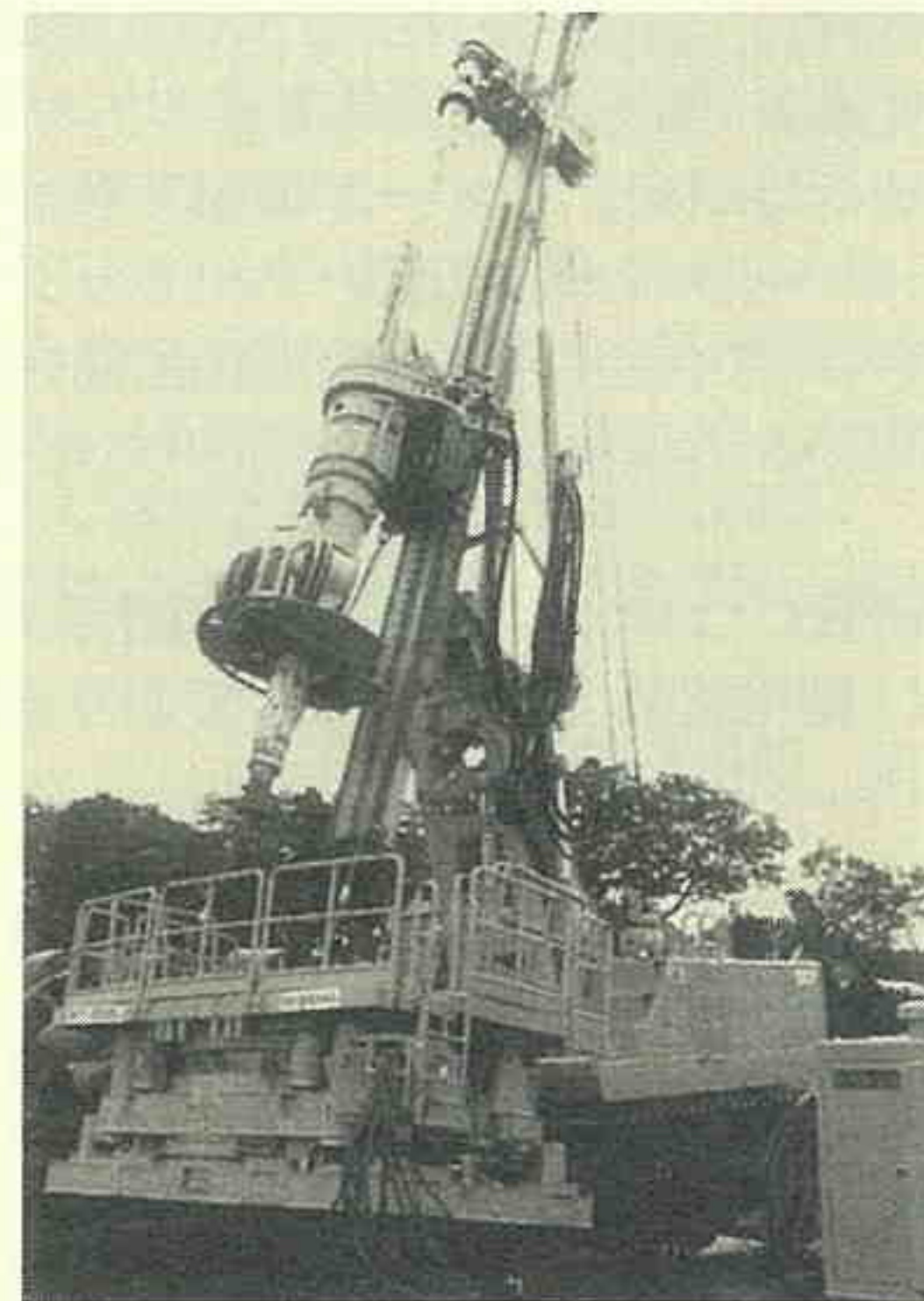
併用作業を目的に開発しました。

本体のみの重量が18.5t (RT-200AⅢに比べ11.5t軽量) と軽量ながら、回転トルクは最大1540kN・m (RT-200AⅢは2170kN・m) と十分に必要な能力を持っています。

デッキ面高さは1536mm (RT-200AⅢに比べ580mm低い) と低空頭ながら、サブデッキを外せば壁際1300mmに杭施工可能なコンパクト設計となっています。

さらに、オプションでサブチャック (保持可能質量50t) も装備可能ですので、狭隘地や橋桁下、高架下等の現場に最適です。もちろん、相伴クレーンの小型化、輸送負荷低減等、施工費の削減にも寄与するでしょう。

(日本車輛製造 (株) 山本忠男)



(RT-200LをEDH-11で抱えて移動中)